

University of Miyazaki Library

宮崎大学附属図書館概要

2022



宮崎大学附属図書館

附属図書館の理念及び目標

「理念」

宮崎大学附属図書館は、本学の理念・目標の実現のために、本学の教育・研究を支援する基盤組織として、図書・雑誌・電子資料等の学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学の学術情報を国内外に発信して本学の教育・研究の発展に寄与するとともに、地域社会・国際社会の学術研究の発展及び文化の振興に貢献する。

「目標」

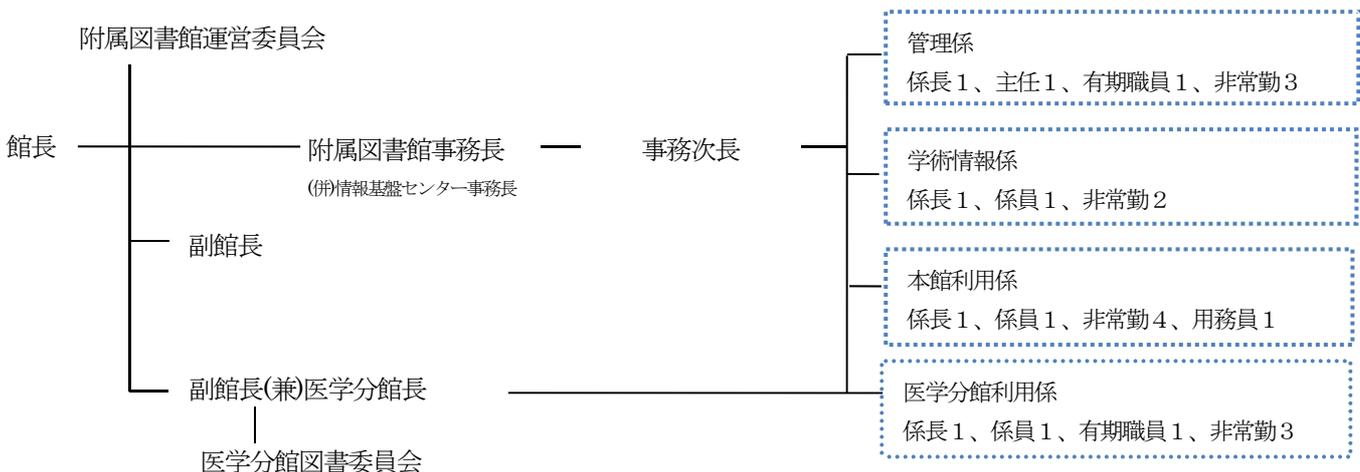
1. 利用者のニーズに対応した支援の充実・強化を図る。
2. 学術情報資料の体系的かつ計画的な収集・整備を促進する。
3. 電子図書館的機能の一層の充実を図る。
4. 教育・研究及び学習のための利用環境の快適化・多様化・機能化を推進する。
5. 研究成果等を積極的に集積・発信し、教育研究活動の活性化に資するとともに、研究資源を社会に還元する。
6. 国内外の図書館との連携及び相互協力に努め、地域社会・国際社会の発展に貢献する。
7. 図書館の理念を達成できる組織の整備を図るとともに、図書館職員の専門性の育成に努める。

沿革

旧宮崎大学附属図書館【統合前】		旧宮崎医科大学附属図書館【統合前】	
昭和24年5月	宮崎大学設置 附属図書館設置	昭和49年6月	仮校舎に附属図書館設置
昭和38年3月	附属図書館新築工事竣工	昭和53年10月	現在地に附属図書館竣工
昭和46年3月	附属図書館増築工事竣工	昭和53年11月	附属図書館開館
昭和62年7月	現在地に附属図書館竣工		
昭和62年9月	附属図書館開館		
宮崎大学附属図書館【統合後】			
平成15年10月	旧宮崎大学と旧宮崎医科大学の統合により、附属図書館は本館と附属図書館医学分館の2館構成となり、館長、医学分館長、副館長を置く。事務組織は学術研究協力部情報図書課となる		
平成16年4月	国立大学法人化に伴い、附属図書館関係学内規程等を改正		
平成19年8月	「宮崎大学学術情報リポジトリ」の一般公開を開始		
平成21年4月	リザーブブック制度の開始		
平成22年10月	事務組織改組、情報図書部図書課となる		
平成23年12月	パスファインダー公開開始		
平成24年4月	医学分館にラーニングコモンズを設置		
平成24年10月	本館にラーニングコモンズを設置		
平成27年4月	本館にセミナールーム（アクティブラーニングサポートルーム）を設置		
平成28年4月	事務組織改組、附属図書館事務部となる		
平成28年11月	学生サポーター制度を正式に開始		
令和2年1月	附属図書館（医学分館）リニューアルオープン		
令和2年7月	附属図書館（本館）リニューアルオープン		

組織図

(令和4年5月1日現在)



<本館>



3階



hidamari



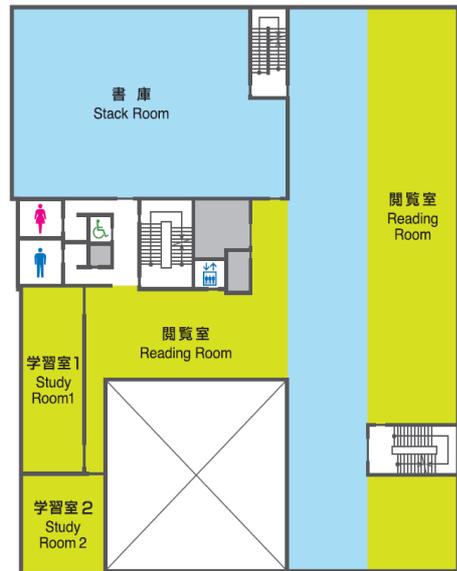
itanoma



komorebi



American Information Desk



2階



閲覧室 (開架)



閲覧室



閲覧室



学習室



1階



ワークショップコート



コミュニケーションコート

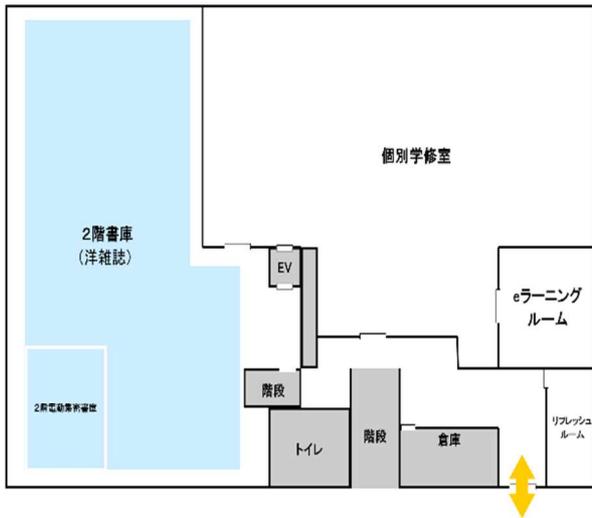


ライブラリーカフェ



絵本コーナー

<医学分館>



2階



リフレッシュルーム



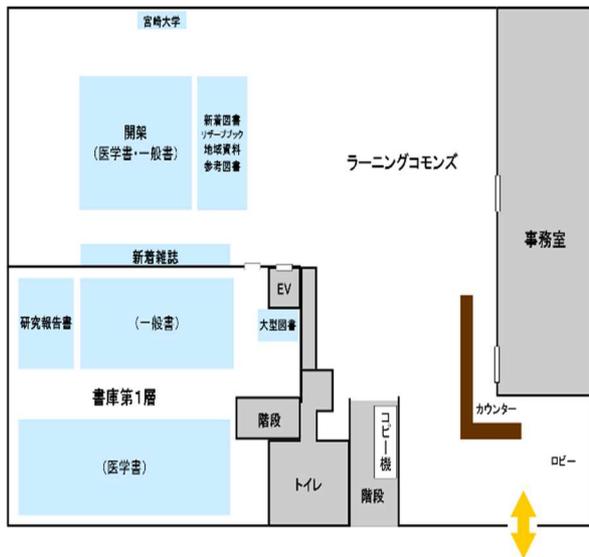
個別学修室



中2階



書庫第2層



1階



ラーニングcommons



開架閲覧席



書庫第1層

令和3（2021）年度

・「新・門川の魚図鑑」展示会

令和3年7月1日～7月20日まで、附属図書館本館において「新・門川の魚図鑑」展示会を開催しました。門川町は昔から「さかなの町」として知られてきました。そんななか、平成29年に宮崎大学が門川町と包括連携協定を締結し、連携事業の一環として門川町の海の豊かさを学術的に解明するための「さかな図鑑プロジェクト」が始められ、令和元年には3年の歳月を経て515種が掲載された図鑑が完成しました。

そして、今回新たに、水深200m～363mの範囲で操業している底曳網漁業で漁獲された魚類も対象に含めた大図鑑「新・門川の魚図鑑」（815種の魚が分類順に掲載され、立体的に門川の海の多様さと、それぞれの環境に生息する魚種の違いを知ることができる357ページの大作）が完成し、農学部村瀬研究室の学生が中心となって制作したカルタやガイドブックなどと併せて展示を行いました。



本館1F展示コーナーでの展示



特別セミナー「門川の海の魅力」の様子

・国文祭・芸文祭みやざき2020「みやざき大歌会」開催

令和3年7月10日宮崎県が主催する国文祭・芸文祭みやざき2020の一環として、短歌を身近に感じてもらおうと「みやざき大歌会」と銘打ち、短歌に関するイベントを開催しました。

ゲストに、歌人・作家として活躍する東直子氏、歌人・コピーライター（フリーペーパー「うたらば」の刊行）として活躍する田中ましろ氏を迎え、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から限られた人数とはなりましたが、会場では宮崎市市内の中・高・大学生が参加しました。



本館1Fの国文祭・芸文祭みやざき展示コーナー



「みやざき大歌会」トークイベントの様子

・宮崎基地特攻資料展を開催

令和3年8月20日～9月15日まで、附属図書館本館において「宮崎基地特攻資料展」（主催：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会、共催：宮崎大学、後援：南九州文化研究会）を開催しました。

本資料展は、第二次世界大戦中に日本各地で起こった悲劇が二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、本学が宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会と協力して開催しているもので、2回目の開催となりました。会場には、現在の宮崎空港である宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の遺影や特攻隊員

が家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル及び当時の宮崎基地の全貌が描かれたパネル、アメリカ軍兵士が実際に使用していた装備品や戦闘機の模型などの展示、MRT 宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーの設置を行いました。また、宮崎県内で飛行中に撃墜されたり、不時着したことなどが原因で命を落としたアメリカ兵 38 人の資料もあり、日米双方からの視点による展示内容が特徴となりました。さらに、令和 2 年度の展示がきっかけとなって、宮崎基地から飛び立った第 9 銀河隊の飯島誠海軍中尉（21 歳で戦死）のご遺族の方から寄贈された遺品などの特別展示も行いました。



本館 1F 展示コーナーの「宮崎基地特攻資料展」



本館 1F ワークショップコートでの展示品

・「松尾壽之名誉教授業績展示ブース設置オープニングセレモニー」開催

令和 3 年 9 月 24 日附属図書館医学分館において「超微量の黄体形成ホルモン放出因子（LH-RH）の構造決定」に代表される松尾壽之名誉教授の医学分野に多大な影響を与えた多くの業績を称える展示ブースが設置され、そのオープニングセレモニーを開催しました。本セレモニーは、コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小し執り行われましたが、松尾名誉教授ご夫妻にもお越し頂き、本学学長をはじめ理事、医学部長、病院長などが出席し、その功績を称えました。



テープカットの様子



業績展示ブース

・「図書のリサイクル市開催」

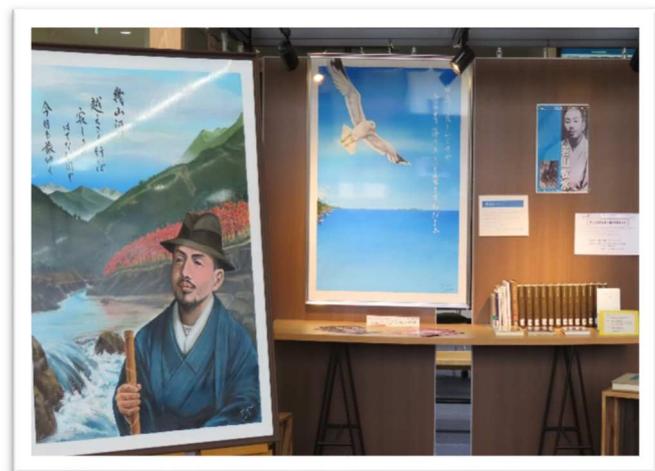
令和 3 年 11 月 1 日～12 月 10 日まで、附属図書館本館 1F のコミュニケーションコートの一隅にて「図書のリサイクル市」を開催しました。これまで大学開行事や展示の企画、卒業式に合わせて実施してきたものですが、令和 3 年度は大学開行事が中止となり、当初の予定期間を延長して実施しました。約 1 万冊廃棄を決定した学部関連分野を中心とした参考図書等を展示し、そのうち約 2,800 冊を配布しました。



「図書のリサイクル市」展示状況

・第26回若山牧水受賞作と「牧水と時間（とき）を紡いだ百人」展を開催

令和4年2月4日～3月31日まで、附属図書館本館において、若山牧水の同時代を生きた文人・文化人の肖像百人の移設展を開催しました。同展は前年秋、日向市東郷町坪谷の若山牧水記念文学館にて開催されたもので、その後、日向市駅と日向市役所においてリレー展示され、今回バトンを受けて本学において展示することになり、宮崎市内では初の開催となりました。牧水短歌からイメージされた大判絵画とともに、教科書で誰もが気になった文人たちの肖像から、様々な読書へと目を向ける契機として企画されました。



1F展示コーナーでの月例展示



「牧水と時間（とき）を紡いだ百人」展

・「プロジェクションマッピング短歌会」開催

令和4年3月29日附属図書館本館3F katarai において、『プロジェクションマッピング短歌会』が開催されました。本企画は、「光と映像で表現する宮崎」と題したプログラムで、宮崎大学チャレンジプログラムに参加したグループと、宮崎大学短歌会（サークル）のグループによる発案で、異分野の学生がコラボして行われたものです。

歌会では、テーマ詠「溪流」としてプロジェクションマッピングによって覆われた空間に座し、同テーマで事前に集められた短歌11首に対して、参加者が歌から想像される情景や詠み手の心情を思い思いに披露し、実際の詠み手が歌へ込めた思いを披露する形で行われ大いに盛り上がりました。

短歌会の代表からは、「他学部の学生とコラボして何かをするということ自体が大変貴重ですし、良いタイミングで対面により実施できたことも非常に楽しかったです。今後、他のグループとのコラボも展開してみたいです。」と、抱負が語られ、プロジェクションマッピングの代表からは、「プロジェクションマッピングの技術は、感覚的なものを視覚的、聴覚的に捉えることで、更に深化して感じる事ができるものだと思うので、工学的な展開だけでなく、大学の他学部との融合にチャレンジしてみたい」と抱負が語られました。

この企画は、試行的に行われたもので、限定的にオンラインでも配信され、双方とも今後の展開に期待が持てる企画となりました。



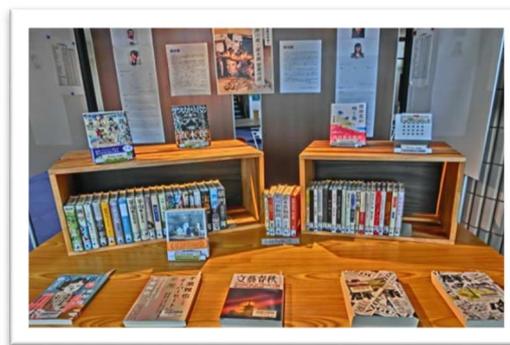
「プロジェクションマッピング短歌会」の様子

展 示

令和3（2021）年度

<本館>

- ・企画展示「大学生活はじめの一步」（4月1日～30日）
- ・特別展示「JA 共同研究報告」（4月12日～5月7日）
- ・月例展示「図書館サポーター活動紹介！」（5月17日～6月30日）
- ・月例展示「BLM(Black Lives Matter)展」（5月24日～6月30日）
- ・月例展示「まんがでわかる」（7月1日～30日）
- ・特別展示「新・門川の魚図鑑」展示会（7月1日～20日）
- ・学生展示「美術部展」（7月21日～8月10日）
- ・月例展示「旅の本」（8月3日～31日）
- ・特別展示「宮崎基地特攻資料展」（8月20日～9月15日）
- ・月例展示「芥川・直木賞受賞作」（9月1日～30日）
- ・月例展示「俵万智短歌賞展」（10月1日～31日）
- ・特別展示 宮崎県立図書館巡回展「若山牧水」（10月4日～11月1日）
- ・緊急企画「TOEIC関連本の紹介」（10月19日～11月30日）
- ・月例展示「SDG s 関連の本」（11月1日～30日）
- ・月例展示「Japan Knowledge 展」（11月1日～30日）
- ・月例展示「クリスマス関連図書展示」（12月1日～31日）
- ・月例展示「ノーベル賞関連展示」（12月1日～31日）
- ・月例展示「あなたの生まれた年の本」（1月5日～31日）
- ・月例展示「お正月の本～和の世界～」(1月5日～31日)
- ・特別展示 第26回若山牧水賞受賞作と「牧水と時間（とき）を紡いだ百人」展（2月4日～3月31日）



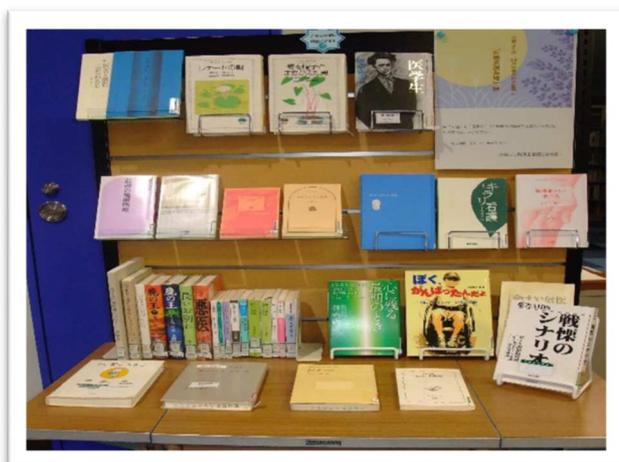
月例展示「芥川・直木賞受賞作」



月例展示「お正月の本～和の世界～」

<医学分館>

- ・企画展示「感染症」感染症の歴史に学ぶ（前年度～8月18日）
- ・企画展示「職員のおすすめ本」（7月30日～9月30日）
- ・企画展示「国家試験対策」（8月19日～9月30日）
- ・企画展示「直木賞芥川賞受賞作」（10月13日～11月30日）
- ・企画展示「医療系読み物」展（10月7日～3月16日）
- ・企画展示「SDG s 関連の本」（12月15日～3月16日）
- ・企画展示「大学生生活応援本！」（3月17日～5月31日）



企画展示「医療系読み物」展



企画展示「大学生生活応援本！」

学生サポーター

学生の図書館活動への理解を深め、図書館職員と協力しながら図書館活動の活性化と図書館振興を図ることを目的として、平成28年11月、学生サポーターが正式に活動を開始しました。

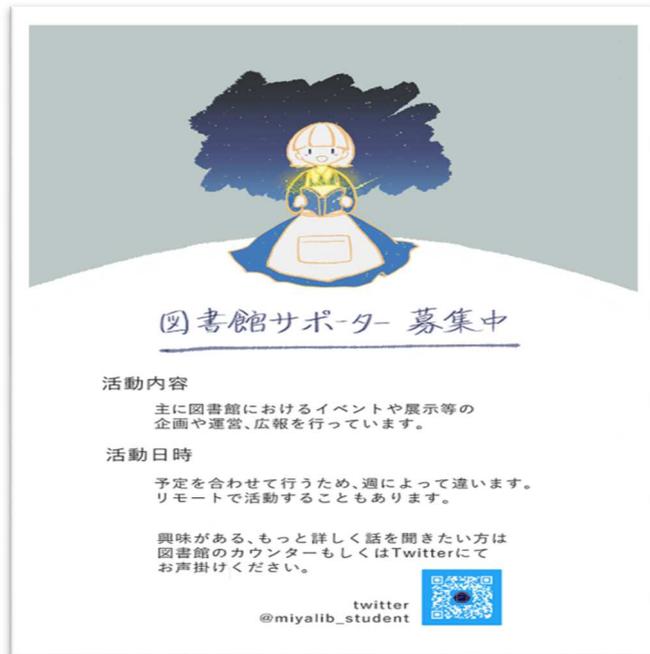
活動内容

- (1) 図書館のサービス向上に向けての提案
- (2) 図書館の行事の企画及び実施にかかる補助
- (3) その他図書館の活動に関すること。

これまで、ビブリオバトル、学生選書ツアー、大学開放事業での学生サークルとのコラボ企画の提案・運営、不用図書の無償配布などで活躍してもらったほか、全国学生協働サミット（横浜市）に参加し、他大学での取り組みを学んでもらいました。令和元年度以降、複数名の学生サポーターが登録されており、いろいろな活動を通じて、今後のサポーター活動にも生かしてもらいたいです。



月例展示「図書館サポーター活動紹介！」



図書館サポーター募集ポスター

パスファインダー

平成23年度より、授業と関連したテーマについて、パスファインダー（調べ物をする際の道しるべとなる情報をまとめた資料）を作成しています。当初6件だった登録数は、令和3年度末現在約131件に増え、年間の閲覧回数も23,816回となっています。閲覧回数100回以上のものは17件、そのうち1件は10,812回利用されました。

コレクション

○大正新脩大藏經 全100巻

このコレクションは、膨大な数のインド仏典の漢訳を10年以上の歳月をかけて全100巻に編集したものです。梵語写本の多くが失われている現在、仏教研究者にとって漢訳仏典は非常に重要であり、特にこの大藏経はその校正の厳密さゆえに高く評価されています。

○イギリス教育史コレクション 467点

このコレクションは、16世紀イギリスの人文主義教育思想家アスカムから20世紀に至るイギリスの教育思想（史）、教育史に関するオリジナル文献・研究書を幅広く収めています。

○アレン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション 996点

このコレクションは、「イギリス労働運動史」の著者として知られる労働運動史家アレン・ハットが所蔵していた、イギリス並びに英露関係を中心とした世界労働運動史の様々な文献から構成されています。

アメリカンインフォメーションデスク

図書館と国際連携センターと連携し、米国国務省からの助成を受け企画した「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」の一環として設置しました。米国留学や文化に関する情報提供や各種イベントを実施し、宮崎大学のみならず宮崎県全体の国際化、日米相互理解、ひいては日米友好の深化の促進を目的としたものです。



図書館データ（統計）

【蔵書構成（本館）】

（令和4年5月1日現在）

区分	総記	哲学・ 宗教	歴史・ 地理	社会 科学	自然 科学	工学・ 技術	産業	芸術・ 美術	言語	文学	合計
和漢書	19,104	20,014	31,718	103,947	68,961	48,547	33,479	20,358	12,476	30,166	388,770
洋書	4,161	7,421	4,699	17,361	39,964	11,363	10,010	2,251	4,727	12,008	113,965
合計	23,265	27,435	36,417	121,308	108,925	59,910	43,489	22,609	17,203	42,174	502,735

【蔵書構成（医学分館）】

（令和4年5月1日現在）

区分	基礎教育等（和洋）							合計		
	人文	社会	自然	外国語	保健体育	その他	小計			
蔵書	6,270	5,004	6,847	4,293	460	496	23,370			
区分	専門教育等									合計
	基礎医学			臨床医学			看護学			
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	
蔵書	12,551	22,001	34,552	26,322	35,872	62,194	5,228	585	5,813	125,929

【雑誌情報】

（令和4年5月1日現在）

区分	所蔵	
	本館	医学分館
和雑誌	8,272	2,278
洋雑誌	2,752	1,729
合計	11,024	4,007

【利用状況】

（令和3年度）

区分	本館		医学分館		
入館者（人） [うち学外者（人）]	175,657 [6,463]		56,235 [2]		
貸出	人数（人）	冊数（冊）	人数（人）	冊数（冊）	
	学生	5,795	11,533	1,661	3,420
	教職員	953	2,412	560	1,398
	学外者	252	626	1	3
	合計	7,000	14,571	2,222	4,821
レファレンスサービス（件）	844		736		
学外文献複写	依頼（件）	1,239		662	
	受付（件）	222		550	

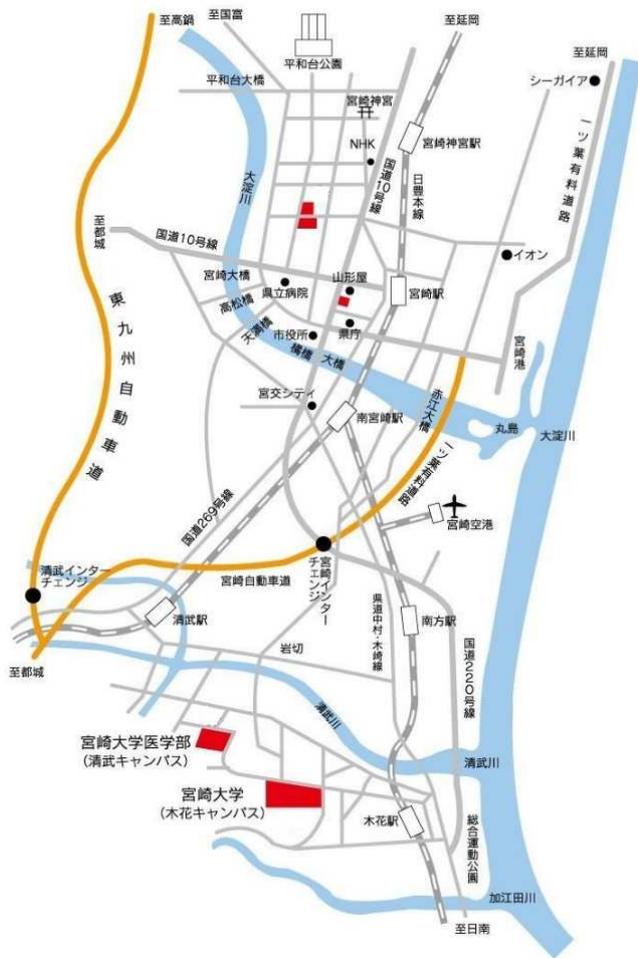
【ガイダンス】

（令和3年度）

区分	本館		医学分館	
	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
オリエンテーション	0	0	9	461
ガイダンス	24	1,082	5	253
時間外利用説明会			24	29
合計	24	1,082	38	743

アクセス

<アクセスマップ>



【交通案内】

バス利用（宮崎交通バス）

- JR日豊本線宮崎駅から 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約40分）
- 宮交シティバスセンターから 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約25分）

タクシー利用

<本館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約11km、約25分
- JR日豊本線清武駅から 約6km、約15分
- 宮崎空港から 約8km、約15分

<医学分館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約10km、約20分
- JR日豊本線清武駅から 約4km、約10分
- 宮崎空港から 約10km、約20分

<本館>



<医学分館>



宮崎大学附属図書館概要 2022

令和4年6月発行

編集発行 宮崎大学附属図書館
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL 0985-58-7759 FAX 0985-58-2896
<http://www.lib.miyazaki-u.ac.jp>